未来(あした)のために今やろう！
TaN Think Talk about Now
Vol.11 2021 Mar

沖縄県議会議員
新垣(あらかき) 淑豊(よしとよ)

議会レポート

YOSHITOYO's Questions

議会で取り上げた質問について「なぜ？」その問題を取り上げたか「どのように」沖縄県が考えているかなどをお伝えしていきます。

県民と県民そして県民と議会や沖縄県が繋がるような情報をお伝えしたいと思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通していただき、ご意見をいただければ幸いです。

一般質問

那覇軍港の移設について、勝手な意識調査は中止へ！

那覇軍港移設問題について自民党県議団は一体となって取り組みました。
非常に複雑な問題ですので、これまでの主な出来事を整理しました。

那覇軍港(沖縄県HPより)

●昭和49年に移設を条件に全面返還の合意が日米両政府間でなされる。
●平成8年12月には日米両国が「沖縄に関する特別行動委員会(SACO)」の最終報告の中で、那覇港湾施設の全面返還と浦添ふ頭への代替施設の移設を盛り込む。
●平成14年11月沖縄県、那覇市、浦添市の三者からなる那覇港湾管理組合(管理者：県知事)を組織。技術的、事務的な港湾計画を行っている。
●近年、県と那覇市はともにSACOの最終報告を尊重し、那覇軍港の浦添市移設を推進してきた。また、建設地に関しては県、那覇市の主張する北側案と、浦添市が主張する西海岸地域一帯の開発も含めた南側案で協議が行われてきた。
●令和2年8月に浦添市、松本市長は苦渋の決断で北側案を受け入れた。これ以上の先延ばしは、開発の遅れとなる。那覇港湾地域の発展のためにも、この決断はやむを得ないもであったでしょう。

そして、今回の本題は、その北側案合意後に那覇港管理組合がウェブ上で行った県民意識調査であります。そこには那覇市、浦添市が承知していない案が突如として記載されていました。議会で質すと参考イメージとして作成したというものであり、港湾管理組合の副管理者の独断で決定されたものでした。

この調査内容に対して、那覇市、浦添市からは抗議文が出されました。県の回答は両市には説明をしたが十分ではなかった、しかし、今後しっかりと説明をした上でこの意識調査は続けるとしました。

両市の許可もなく抗議を受けるような調査を県は継続すると議会で明言したのですが、翌日、中止が発表されました。この一件だけを見ても非常にお粗末な県政運営がなされていることが明らかになったと思います。

那覇港湾地域のみならず、今後、多くの米軍施設、区域が返還されていく上で、地域の要望を軽視し、勝手な計画を進める県政の在り方を、今一度、私達県議はもとより県民の皆さんにも考えていただき、厳しい目で見ていただきたいと思います。

一般質問

クラスター感染、医療現場への支援策は？

新型コロナウイルスのクラスター(集団)感染が県内でも多く見られるようになっています。その中でも医療施設内で発生した場合には独自の様々な課題があるようです。
「沖縄県南部や石垣島の慢性期医療施設(＊1)で発生したクラスター感染の際に人的応援体制の整備や医療物資の確保と非常に厳しい一ヵ月間を過ごした。」「また、医療報酬の支給も十分でなかった。」というお話を現場の医療関係者から伺いました。
そこで、発生の際の状況と県がどのような対策を行ったのかを質問しました。

クラスター発生当時は重点医療機関(＊2)もひっ迫した状況で、慢性医療施設からの受け入れが困難であった。そのため発生した施設内で感染者の対応をしてもらい、各現場の状況確認をした上で支援を行った。
自衛隊やNPO団体から46名の人材派遣、感染対策に必要な物資の支援、重点医療機関の指定、などを行ったが、さらなる制度の拡充が必要であった。
現在はクラスター対策チームの立ち上げや、医療報酬についても全国知事会を通して包括交付金の柔軟な運用ができるよう要請をしている。との回答を受け、引き続き、医療機関への支援をお願いいたしました。

＊1、病気やけがの治療後に、点滴や人工呼吸など医療補助が必要な人が入院する施設。
＊2、新型コロナウイルス感染者専用の病院や病棟を設定する機関。

私どものもとにも新型コロナ支援策に関する問い合わせがあります。必要な人になかなか支援が届いていない現状を目の当たりにし、県、国と連携し、皆様の生活の安定のために、さらに動かなければならないと改めて感じています。
お困りの方はぜひ、当事務所や関係機関窓口へご相談ください。

一般質問

なぜ座間味村に決めさせないのか？

浄水場建て替え問題

座間味村の浄水場は老朽化し水質が悪化しており、村民に安心安全な水を供給するために建て替えが予定されています。
その建設地として、阿真ビーチに新設する案と、現在浄水場がある高台に建て替えをする案が出されました。村が住民アンケートを取り候補地を県に提案することになっていましたが、そのアンケートが行われる直前の令和2年8月に、県の企業局と知事の間で高台案が採択されました。突然の決定に座間味村から不満の声が上がりました。
議会では、高台案の採択理由を確認いたしました。

県の回答は、ビーチに建設すると環境への影響が大きい点、高潮などの災害に弱い点から、高台に建設を求める声が、一部村民からあり採択に至ったと説明がありました。
令和2年9月、議会前に現地に赴き、宮里村長とお話させていただきました。
村としてはビーチ案を薦めていた。水質悪化が見られる現状、高台案より工期が1年以上短いビーチ案による早期解決を求めている。また、環境にも十分配慮した計画変更を行っており、建設費用も高台案より低い試算が出ている。
このような地域住民の声がある中「地元の意見を聴取し尊重する」という以前の県の方針とは異なる採択がなされる、県政の現状に疑問を感じました。
議会ではこの現状に触れ、地元の意見を聞き入れない県の対応について苦言を呈しました。
那覇軍港の案件と同様、県は市町村への説明や意見収集を十分に行っていないことがわかりました。私達県議の役割として、それぞれの市町村や団体などからの意見を聞き、県へ届けていくことも求められます。皆様も地域の諸問題に、ご意見ございましたらお寄せください。

現在高台にある座間味浄水場

一般質問

夜間中学校を早く作ってほしい！

文部科学省は各都道府県に1校は公立の夜間中学校があるのが望ましいとしていますが、沖縄県にはありません。民間運営の夜間中学校がその重要な責務を負っているのが現状です。
その民間運営の学校も那覇市から南城市へ移転が決まり、現在の利用者から通えなくなるという声があります。ご高齢の方が多いので利用しやすい立地へ早期の設置が望まれています。
教育委員会が検討をしていますが進捗が遅いということで那覇市議とタッグを組んで、質問に挑みました。

まず、設置に向けた県の動きを確認いたしました。
「現在41市町村のうち、検討しているのは那覇市のみである。平成30年度に県が実施した利用者の希望調査をもとに各市町村へ設置委員会の立ち上げを呼び掛けている。」と、県が主体ではなく、市町村に任せているという回答でした。
事前に那覇市の現状を確認したところ、県が設置をすることを望んでいました。市と県が設置をめぐりお見合い状態でしたので、県に対してしっかり物事を前に進めていただくよう要望いたしました。
県からは市町村と協力して設置に向け動いていくと回答をいただきましたが、さらに、早期の設置を依頼いたしました。
夜間中学校とは、戦中・戦後の混乱期に義務教育を終了できなかった人たちのためにつくられた学びの場です。現在は加えて、不登校や引きこもりで学校に行けなかった人、夜間少人数で授業を受けたい人、外国籍の就労者の家族への日本語教育など、利用目的も様々になってきています。

一般質問

県道29号龍潭通りの早期整備を求む！

私の政務事務所も面している県道29号、鳥堀交差点から山川交差点までの龍潭通り1.2Kmの道路整備工事は平成11年の着工から20年が過ぎていますが、未だに続いています。

琉球石灰岩による敷石は景観を考えられ用いられましたが、割れている箇所もあり、地域から割れた石につまずく、また雨の後滑りやすいなどの声が聞こえます。修理対応は素早くしていただいていますが、そのままの箇所も散見されるのが現状です。

議会では、工事の進捗状況、今後の計画を確認いたしました。

県の回答は、令和元年度末の進捗率は事業費ベースで93％ということ、完成しているのは山川交差点から龍潭付近までの490m。今後は残りの鳥堀交差点までの725mについて歩道の拡幅と電線地中化工事を進めるというものでした。

全体予算の93％を使用し半分も完成していないという状況でした。県、市町村含め、道路建設予算が大変厳しいという状況になっています。

割れた敷石の現状

しかし、まずは地域住民の皆様の安全を考えてほしい。そして、2026年には首里城正殿の再建も予定されています。新型コロナ終息後の復興を見据えて、沖縄観光の目玉となる首里城周辺地域とそれぞれを結ぶ道路の整備をしっかりと行っていただきたいと要望を致しました。

一般質問

大型MICE（集会）施設は本当につくるのか？

県は多くの人が沖縄の地を訪れることで経済を活性化させるよう、その中心となるMICE施設をつくる計画をしています。しかし、以前の計画案は採算が取れる見込みがないことから、国からの予算がおりませんでした。

そこで、新たな予算で令和2年3月まで行った調査結果をもとに、現在、県は民間資金の活用を踏まえた新しい基本計画を作成しています。

しかし、昨年3月以降、世界の状況は新型コロナウイルス流行により大きく変わっています。その調査結果に実用性はあるのでしょうか。

民間企業の投資も視野に入れているが、本当に現在もそのような構想に対し出資をする企業があるのかも疑わしく、ゼロベースで考え直すことも必要ではないかとの提案を致しました。

令和2年11月25日付の報道で西原町長との面談において知事がMICE基本計画案を2月に発表したいと述べていました。このコロナ禍において予算も厳しい、人集めも難しい中において本当に今進めなければいけないことなのかを含め質問いたしました。

これに対する、県の回答はすべてにおいて検討中と、歯切れの悪いものばかりでしたが、計画策定の期限に関しては今年度中としていました。本当にそのように、急造した計画が有用であるのでしょうか。無理な計画を推し進めていくことが本当に必要なのか？こんな時だからこそいったん足を止めてしっかり考えてほしいと、進言しました。

その後、令和3年2月時点で計画策定スケジュールは見直しとなりました。

MICE建設イメージ（沖縄県HPより）

※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称です。

よしとよ新聞

取材依頼募集中！

ハロー　ボンジュール　コンニチハ

［第2号］

首里 あの町この人

第2回

事務局わたなべの首里人リレーインタビュー

屋宜（やぎ）　貢（みつぐ）さん

【好きなもの】
カレーライス、ディスコ

■**屋宜さん情報**：新しいライブ音楽・演劇配信事業もされています。ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/user/love34net

音楽、福祉でつながる地域交流が新しい首里の街をつくる

屋宜さんの「音楽と福祉でまちづくり活動」についてお話を伺いました。2年前から始められた、小学生～高校生を対象とした音楽ワークショップを開催されています。大人気で、入塾待ちの子供達もいるとか、どんな活動をされているかというと、なんと現役プロミュージシャンによる、バンド音楽指導です。生きた音楽を間近で体験することで、言葉で学ぶのではなく、直感で楽器演奏を学ぶ、他にはない取り組みです。屋宜さんは子供達に、大人への憧れを持ってほしい、キラキラしている姿を見て、自分の未来への希望としてほしいとおっしゃっていました。

そして、新型コロナが流行してから、屋宜さんの元へは小学生の学習の場が欲しいと、地域から相談が寄せられたそうです。ここでも屋宜さんの出番でした。音楽を学んでいる高校生に指導役になってもらい、小学生の学習指導をしてもらうことにしました。年齢を越えた子供たちの交流は、学力以外にも地域コミュニティを支える、大変意義のあるものと感じられます。

終わりに屋宜さんの願うものを伺いました。子供達には「日々自由に、やりたいことをやってほしい」地元首里には「大切なものを残しつつも、変化を恐れず新しい魅力を生み出す街になってほしい」とのお言葉をいただきました。まさしくこの活動の先に新しい首里の未来像を感じることができました。

よしとよ商店

毎週土曜日に開催中の「よしとよ商店」。いつもおいしいお野菜とたまごをつくってくださる中村さんに寄稿をお願いしました。

初めまして、園芸ファームなかむら代表の中村一敬です。糸満市で野菜と平飼いたまごを生産しています。お客様が直接購入、評価してくれることに喜びや、やりがいを感じるため直売スタイルで販売しています。なるべく農薬は使用せず、養鶏も鶏たちに自然体で動き回ってほしいので平飼いで養っています。

現在はコロナの関係で控えていますが、野菜の収穫や卵拾いなどの体験も行っています。

さて、今では地域のコミュニティの場となりつつある「よしとよ商店」ですが、関わるきっかけは新型コロナでした。

昨年の冬、沖縄の野菜が旬を迎える頃、新型コロナウイルスの感染拡大が起きました。相次いで取引先からの注文がキャンセルとなり、行き先がなくなり困っているときに紹介されたのが新垣よしとよ県議（当時は那覇市議）でした。

首里当蔵町の事務所前で販売することになり、初めは手探りでしたが、少しずつ野菜のラインナップも充実していきました。だんだんとうわさが広がり、ご近所の方や飲食店の方にもご利用いただけるようになりました。

気が付けば「よしとよ商店」と名前が付き、地域の方のコミュニティの場として活用されていることを大変うれしく思います。今後このような場所が重要だと思いますし、増えていくと思います。私は生産者として、よしとよ商店に来てくれるお客さんの笑顔を想像しながらどんどん作物を作っていこうと思います。

最後にその場を提供して下さいました新垣よしとよ県議、正枝夫人、本当にありがとうございます。これからも園芸ファームなかむらをよろしくお願いいたします。

家族でがんばってます。（糸満市）

※中村さんは、たまごや野菜を使ってくれている飲食店や仲間たちとコラボしてレシピの動画配信、加工品のネット販売もする予定とうかがいました。さらに、食品だけでなく、自社のロゴをプリントした、トートバックやエプロン等も作成予定です。「よしとよ商店」でもご紹介していければと思います。中村さんいつもありがとうございます！

ちんすこう君 クロスワードぱずる

家族で相談して解くトヨ。スマホは反則トヨ。

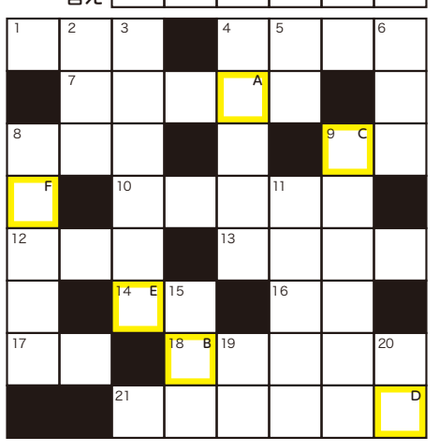
ヨコのカギ

1. 首里は長い〇〇〇のある街。
4. 日本では沖縄でしか見れません。〇〇〇〇ブシ。
7. 首里の憩いの場。別名「イユグムイ」。
8. タコライス発祥の店。パーラー〇〇〇。
9. 天に任せるもの。
10. 男子禁制。女性だけのお楽しみ。
12. この新聞は？ヨ〇〇〇新聞。
13. 沖縄はこれで囲まれています。礁湖。
14. 沖縄のきれいな蝶たち、蛹から脱皮をすることを？
16. ドラマ「北の国から」の舞台といえば？ふ〇〇市。
17. 那覇市首里支所があります。〇〇川町。
18. 象の鼻に似た奇岩で有名。
21. 勤怠管理はこれ。

タテのカギ

2. 首の長い動物。
3. 再建が望まれる、沖縄のシンボル。
4. 一人で持ち上げれば男の中の男。地域のシンボル。
5. チェック〇〇、ピット〇〇、ゴール〇〇。
6. ミンダナオ島より大きいです。
8. 首里高校にあります。〇〇〇〇〇デザイン科。
9. 上の毛。かみのけではありません。
11. 東京都新宿区早稲田通りにある坂。
15. 西表島ではイノシシをこう呼びます。
19. 芋。
20. 独活。読めるかな？

答え

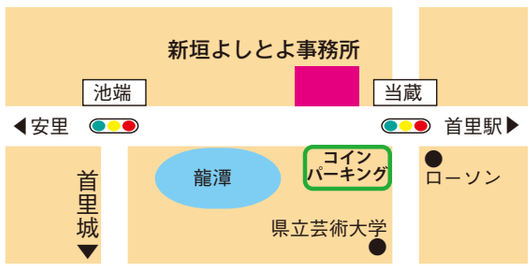


答えはブログにて！

●未収録部分を公式ブログに掲載しております。

大名児童館演劇ワークショップ発表会

3月27日ライブ配信あります



駐車場は周辺コインパーキング等をご利用ください。

新垣よしとよ事務所のご案内

OPEN　月曜日～土曜日
月曜日　14:00～18:30
火～金曜日　9:30～18:30
土曜日　10:00～14:00

休　み　日曜日、年末年始、毎月最終月曜日

●ご相談、お困りごとはお気軽にご連絡ください
●土曜朝市「よしとよ商店」新鮮卵やお野菜あります！
●貸しスペースとしてご利用いただけます

新垣よしとよ事務所　那覇市首里当蔵町 1-11-20　1F
TEL.098-886-0205 ／ E-mail : arakakiyoshitoyo@gmail.com
Facebook : ／ Twitter : ／ instagram : ／ Blog :